

# 説明書

治療・検査の名称	リツキサン投与
----------	---------

## 説明項目

### 1. 診断名（病気の名前と進行度）

慢性腎不全、HLA 抗体陽性腎移植術前

### 2. 病気の説明（どこに、なにがおきてどうなっているのか）

ドナーになる予定の方の HLA 抗原に対する HLA 抗体があなたの血液中に存在します。処置を何もしないで腎移植を施行すると、HLA 抗体が移植腎に結合し抗体関連型拒絶反応という難治性の拒絶反応を発症し、場合によってはすぐに移植腎が廃絶してしまいます。そのようなことが起きないように、腎移植前にリツキサンを投与します。リツキサンは HLA 抗体を産生する B 細胞を排除する作用があります。

### 3. 目的および必要性（なぜこの方法が提案されたのか）

目的：リツキサンを投与して HLA 抗体を産生する B 細胞を排除します。

必要性：このまま腎移植を施行すると抗体関連型拒絶反応を発症するリスクが高いです。

### 4. 方法（なにをどうするのか）

リツキサンという薬を点滴で投与します。

### 5. 受けた場合の予想される経過（期待されること）

投与しても、多く方は特に副作用なく翌日に退院します。B 細胞は急激に減少します。

### 6. 危険性および起こりうる合併症について（心配されることや副作用）

・ **Infusion reaction**：投与中から投与開始 24 時間以内に多くあらわれます。過敏症、ショックと類似した発熱、悪寒、そう痒等の症状が現れます。そうならないように予防の薬を投与しますが、それでも発症することはあります。症状が重篤な場合は投与を中止し、酸素吸入や血圧をあげる薬、気管支を拡張させる薬などの投与が必要となります。

・ **B 型肝炎ウイルスによる劇症肝炎、肝炎の増悪**：B 型肝炎ウイルスキャリアの患者または既往感染者に投与し、劇症肝炎または肝炎の増悪、肝不全による死亡した症例が報告されています。

・ **皮膚粘膜症状**：皮膚粘膜眼症候群、中毒性表皮壊死融解症、天疱瘡様症状、苔癬状皮膚炎、小水疱性皮膚炎等があらわれ、死亡に至った例が少数例報告されています。症状の発現は 1～13 週で一定の傾向は認められていません。

・ **汎血球減少、白血球減少、好中球減少、血小板減少**：抗がん剤としてリツキサンを使用したときに（腎移植よりも投与量が多くなります）、汎血球減少が 1.3%、白血球減少が 12.1%、

